

くるくる回るからくりおもちゃをつくらう

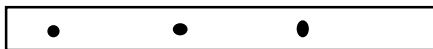
青森・野呂茂樹

郷土玩具の中には、名古屋の”まわりねずみ”のように、糸かけでキャラクターをくるくる回転させて楽しむものがあります。もともとは竹でつくられています。このしかけを利用したプラ板・木板での簡易バージョンを紹介します。

【材料・つくりなど】



①幅 1.5~2cm 程度、長さ 20cm 程度、1mm 程度厚のプラ板 / 2mm 厚の木板に穴をあけます。



2cm 6cm 6cm 6cm
2 枚



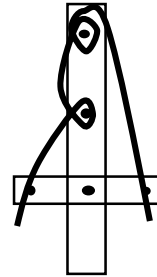
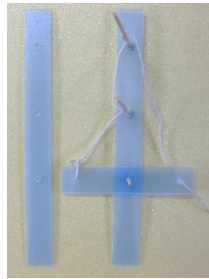
1cm 4cm 4cm 1cm 1 枚

②竹串 2cm 1 本 4~10cm 1~2 本

ストッパーとして、網戸用ゴム（極太タイプ・6.8mmφ / 5.5mmφ）を短く切ったものをはめます。または、細く切った紙を巻きつけます。

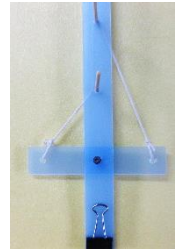
③長い板 1 枚に竹串を通し短い板を重ねます。

④タコ糸を巻きつけ、長い板を被せます。



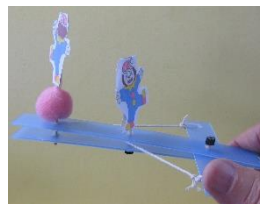
⑤手元の端をクリップで押さえます。

⑥糸を短い板の穴に通し、たるまないように張りながら結びます。



⑦竹串にキャラクターを取り付けます。

⑧手元の短い板を前後に動かすと、キャラクターはくるくると回ります。



* 動画 <https://youtu.be/3t0Lmp7Nlk4>

【参考文献】

- ・井上重義著「伝承手づくりおもちゃ」（草土文化）
- ・多田信作著「からくりおもちゃ工作」（池田書店）